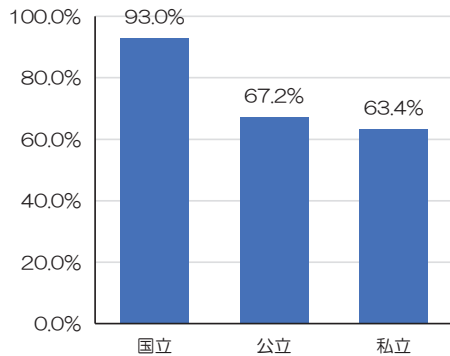


11. 社会貢献(1)

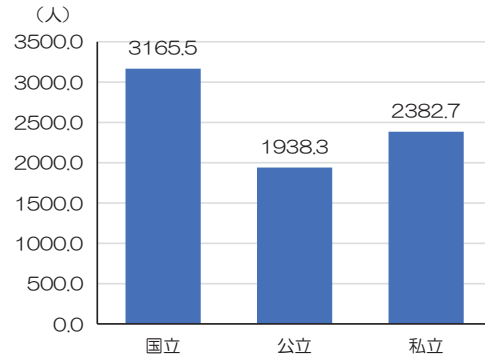
11-1. 社会人の学び直しに関する取組の実施率 (H28)



(注) 社会人の学び直しとは、公開講座や正規授業等を通して実施され、主に「受講者が、現在の仕事・職業や今後の就職や転職などに役立つ専門知識や能力を身につける」「受講者個人の仕事に関する今後のキャリア形成に資する」ことを目的とする取組（「人材認証制度」や「法令に根拠のある資格取得のための講習」も含む（教員免許更新講習やFP 技能士等））。

(出典) 文部科学省委託「平成29年度 開かれた大学づくりに関する調査研究」より国立大学協会事務局作成
※更新時点で元調査未更新のため、2021年度は未更新

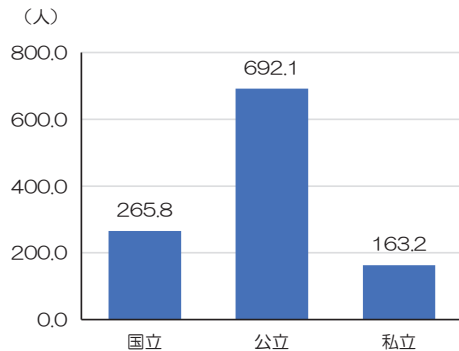
11-2. 公開講座の受講者数 (1大学当たりの平均・年間) (H28)



(注) 公開講座を「開設した」と回答した大学のうち、受講者数の記入があった大学の回答を集計。

(出典) 文部科学省委託「平成29年度 開かれた大学づくりに関する調査研究」より国立大学協会事務局作成
※更新時点で元調査未更新のため、2022年度は未更新

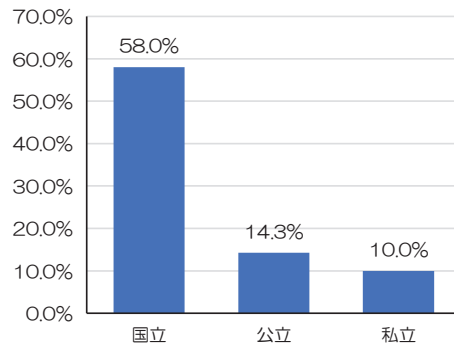
11-3. 図書館の学外者の利用者数 (1館当たりの平均・年間)



(注) 「学外者の利用者数」を「学外者の利用を認めている図書館」で除した値。

(出典) 文部科学省「令和3年度学術情報基盤実態調査」より国立大学協会事務局作成

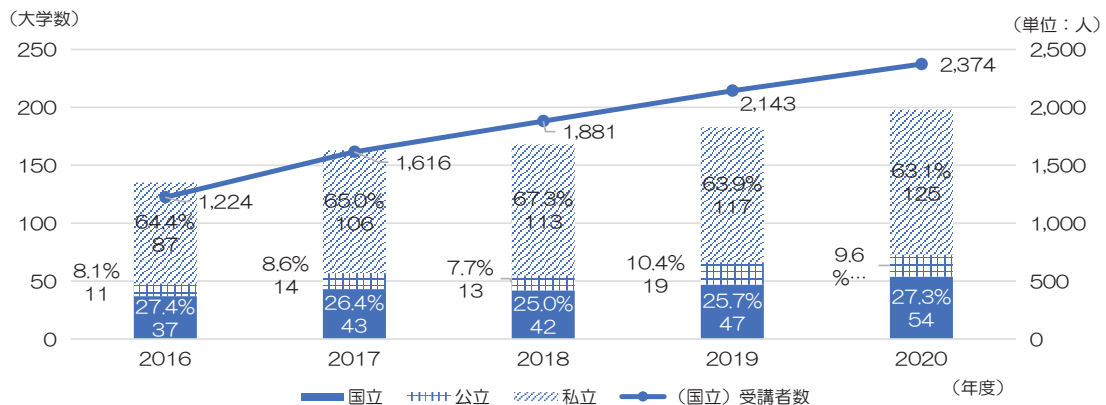
11-4. 常設の保育施設の設置率 (H28)



(出典) 文部科学省委託「平成29年度 開かれた大学づくりに関する調査研究」より国立大学協会事務局作成

※更新時点で元調査未更新のため、2021年度は未更新

11-5. 履修証明プログラムの実施状況

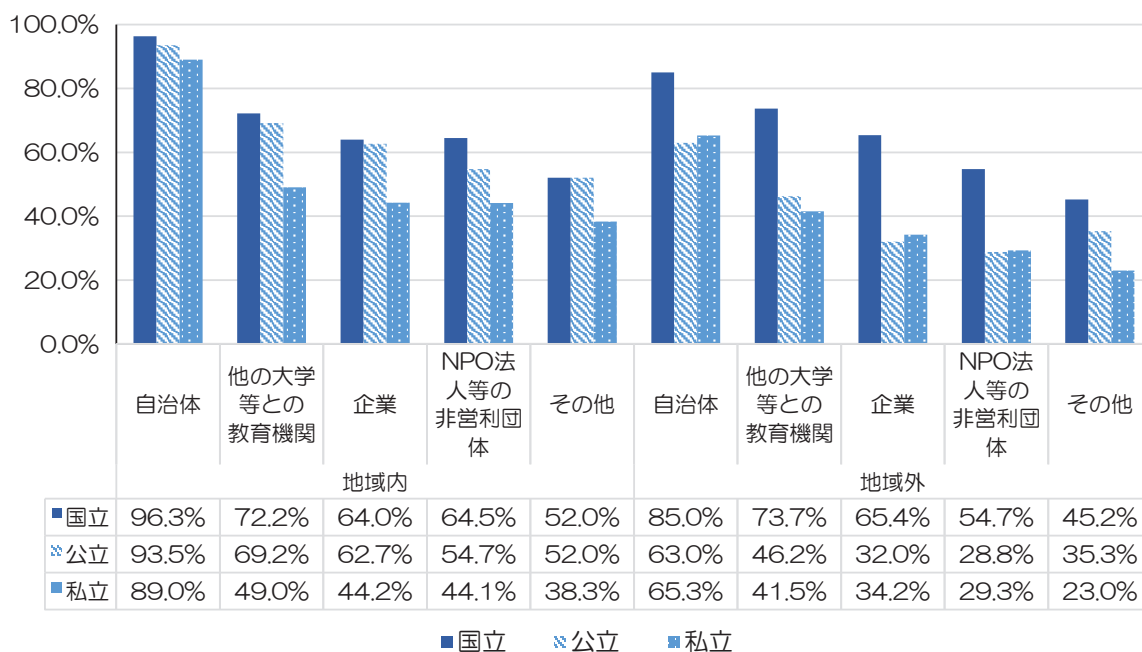


(注) 社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付できるもの

(出典) 文部科学省「令和2年度の大学における教育内容等の改革状況について（概要）」より国立大学協会事務局作成

11. 社会貢献(2)

11-6. 学外との連携先別の割合



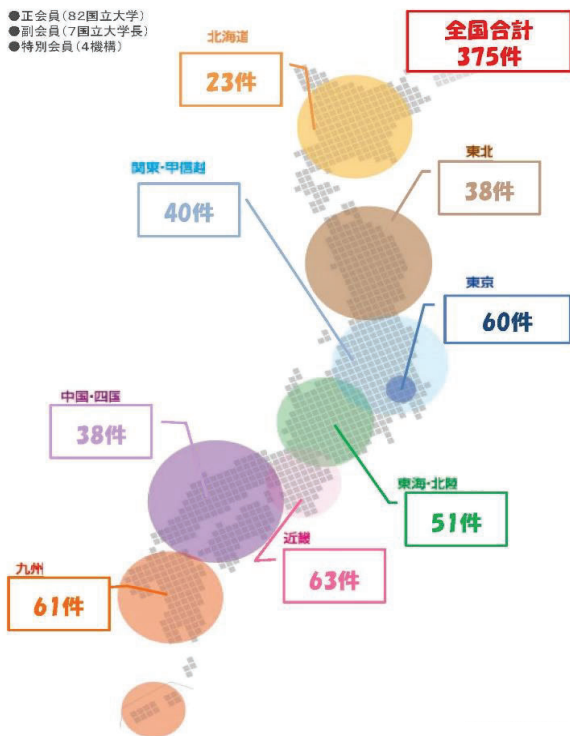
(注1) 地域とは、大学所在の市区町村。

(注2) 大学のメインキャンパスのほか、サテライト等が所在している市区町村も「地域内」と分類している。

(出典) 文部科学省委託「平成29年度 開かれた大学づくりに関する調査研究」より国立大学協会事務局作成

※更新時点で元調査未更新のため、2022年度は未更新

11-7. 「国立大学フェスタ2022」の開催



・ 広く地域社会に優れた教育研究内容を公開するために、全国の国立大学・大学共同利用機関で実施しています。

(2022年度：2022年10月1日～11月30日)

・ 全国合計で**375件**のイベントを登録
 ・ 国立大学の果たしている役割を少しでも多くの方々に認識いただくための活動です。

【内訳】

- ・ オープンキャンパス等 44件
- ・ 演奏会等 5件
- ・ シンポジウム、セミナー等 52件
- ・ 大学祭等 56件
- ・ 公開講座等 125件
- ・ ホームカミングデー等 31件
- ・ サイエンスカフェ等 11件
- ・ その他 50件
- ・ 大学改革シンポジウム(国大協主催) 1件

(出典) 国立大学協会ホームページ「国立大学フェスタ2022」より
 国立大学協会事務局作成